

# 指定管理者総合評価シート

## 1 施設の概要

施設名	中浦ヒメサユリ森林公園	所在地	三条市中浦143番地
設置目的	豊かな自然環境を活用し市民の健康増進と生活文化の向上を図り、ゆとりと潤いのある生活の実現に寄与する		
規模	面積 28.6ha バンガロー 5棟 テントサイト 35張 2,620㎡ 管理棟 外	設置年月日	平成6年6月6日

## 2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	中浦ヒメサユリ森林公園管理組合	指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日			
指定管理業務の内容	公園管理の維持管理全般	指定管理料(千円)	H23 H25 H27	5,632千円 5,632千円 5,805千円	H24 H26	5,632千円 5,805千円
導入効果	<p>①収支の状況 管理組合を組織する集落ボランティアによる冬囲い、除草などを行い、経費の縮減努力がうかがえる。4年間とも、収支差引合計がプラスであり、経営努力の結果、安定した経営が行われている。</p> <p>②施設の利用状況 天候に左右される部分が多いが、リピーターを中心に年間利用者の安定化が進んでいる。イベント会場としての利用も今後も進めて行きたいと考えている。</p> <p>③サービス向上への取組み 目標設定等を行っていないが、常に利用者の立場に立って、対応している。</p> <p>④住民との協働、地域の活性化及び団体の自立化 当公園に指定管理者制度を導入したことで、直営時以上に施設管理への取組みが活発化している。当地区の自立化が促進され、活性化にも活性化にもつながっている。</p>					

## 3 総合評価(総括)

管理運営状況評価	最高配点	55 点中	37 点	配点評価	B
評価	<p>収支の状況については、指定管理料と売店収入により運営しているが、毎年黒字会計となっている。利用状況については、テントサイト・バンガローの利用料金が発生する利用者に限られているが、概ね安定した利用となっている。(利用状況については、利用料金の発生しない利用者の把握についても今後指導して行く必要があると思われる。) 日帰りの家族連れ等が多く、食べ物など持ち込みもある中で、売店収入が安定していることは、利用者の視点に立ったサービスに心掛けている成果と言える。今後もリピーターによる口コミなどでの利用者獲得に繋がるよう、サービスの維持向上に努めてもらいたい。</p> <p>施設管理面では、平成6年の開設以来、園内での大きな事故の発生は無く、現指定管理者が常に事故防止に気を配っている事も大きな要因となっている。「中浦ヒメサユリ森林公園施設組合」を組織する中浦集落は、地域一体となって本施設の管理運営に取り組んでいることは、地域住民の生きがい活動的な役割も担っている。</p>				
今後の方針	管理運営方法の見直し				
	今後の管理形態	指定管理者制度			
	理由	<p>①事業の実施内容 市提示の仕様書に則った運営が十分行われている。また、常に利用者の視点に立った取組みに心掛けることにより、サービスの向上が図られている。また、施設を活用したイベントの増加も図られている。</p> <p>②地域の活性化 制度導入により、直営時以上に管理運営に対する取組みが、活発となっている。また、管理組合を組織する集落全体で施設を盛り上げていきたいという意気込みが、除草ボランティア等の活動に表れている。</p> <p>上記①及び②の理由から、指定管理者制度を継続することで、安定した経営・サービスが図られると判断される。</p>			
	指定管理者制度を更新する場合				
選定方法	非公募				
非公募の場合、その理由	<p>当公園は施設開園当時から市の委託を受け、平成18年度からは指定管理者として業務を実施している。経営自体も安定しており、引き続き「中浦ヒメサユリ森林公園管理組合」が管理運営を行っていただくことが適当であると判断される。</p>				

理由

「国官理組行」に官理連呂を行わせることが適当である。